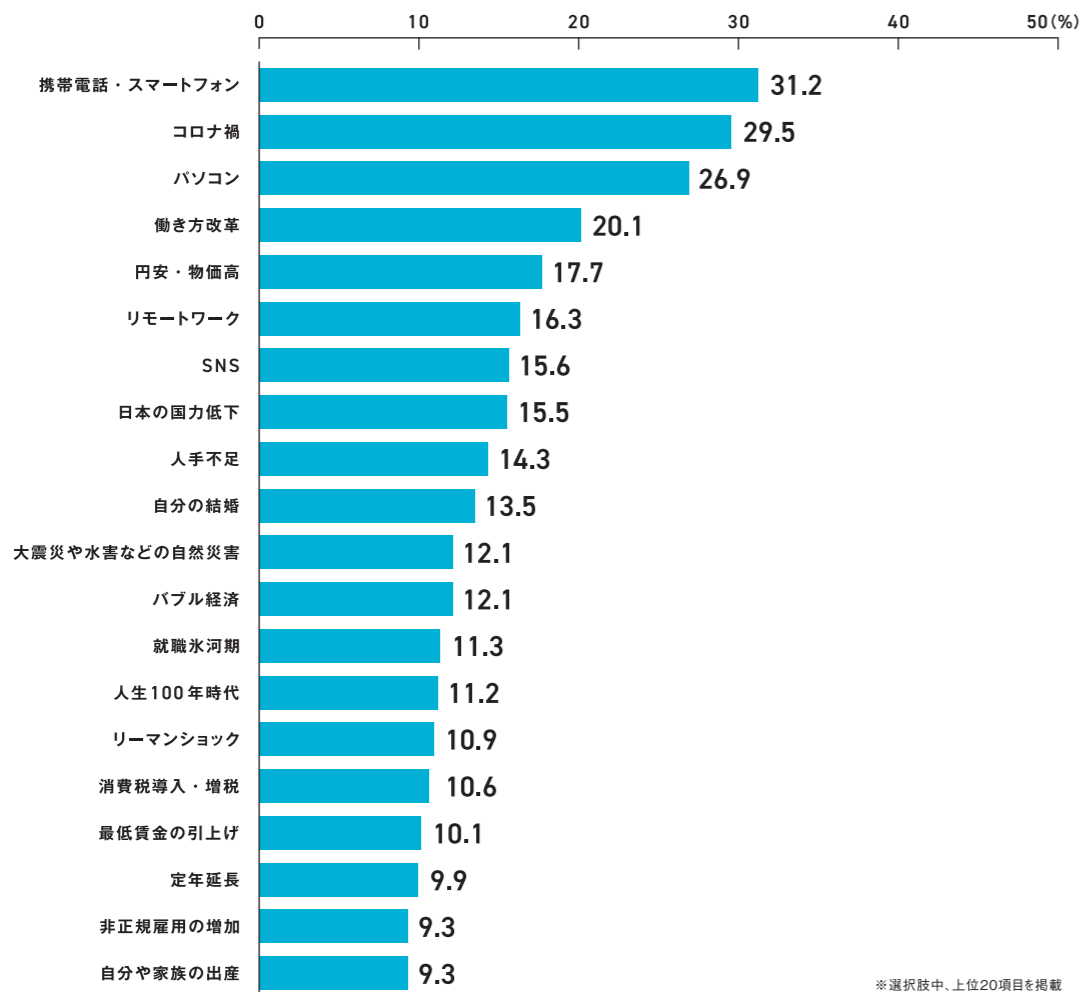


## 仕事観に影響を与えたものや出来事は？

2020年以降しばらく続いたコロナ禍は、生活者の暮らしに大きな変化を与えましたが、仕事や働き方についても例外ではありません。ほかにも、仕事や働き方に影響を与えたものは何があるのでしょうか。そこで、「あなたの仕事や働き方に対する考え方や行動に大きな影響を与えたと思うもの」について調査しました。回答を集計すると、「携帯電話・スマートフォン」「コロナ禍」「パソコン」が上位3位にランクインしました。また、男女別でみると、男性では「携帯電話・スマートフォン」「パソコン」などのデジタルデバイスが1位に多くランクインしています。一方女性では、20代女性を除き「コロナ禍」が1位にランクインしており、男女で違いがみられる結果となりました。

### Q 次にあげる項目のうち、あなたの仕事や働き方に対する考え方や行動に大きな影響を与えたと思うものは何ですか。

あてはまるものをいくつでもお選びください。



※選択肢中、上位20項目を掲載

## 性年代別

	20代男性	%
1位	携帯電話・スマートフォン	42.0
2位	SNS	26.9
3位	コロナ禍	24.4
4位	働き方改革	23.5
5位	最低賃金の引上げ	21.0
6位	自分の就活	20.2
7位	パソコン	18.5
8位	人手不足	17.6
9位	円安・物価高	16.8
10位	インフルエンサー	16.0

	30代男性	%
1位	携帯電話・スマートフォン	41.8
2位	コロナ禍	27.7
3位	パソコン	24.3
4位	働き方改革	23.2
5位	自分の結婚	22.0
6位	SNS	19.8
7位	円安・物価高	18.6
8位	最低賃金の引上げ	16.9
8位	リモートワーク	16.9
10位	人手不足	15.3
10位	日本の国力低下	15.3

	40代男性	%
1位	携帯電話・スマートフォン	36.7
2位	パソコン	34.2
3位	就職氷河期	24.5
4位	働き方改革	23.2
5位	コロナ禍	22.8
6位	日本の国力低下	20.7
7位	人手不足	17.7
8位	円安・物価高	17.3
9位	SNS	16.0
10位	リモートワーク	15.2
10位	リーマンショック	15.2

	50代男性	%
1位	パソコン	35.6
2位	携帯電話・スマートフォン	28.2
3位	コロナ禍	26.9
4位	働き方改革	24.5
5位	人手不足	16.2
6位	円安・物価高	15.7
7位	リモートワーク	15.3
7位	日本の国力低下	15.3
7位	バブル経済	15.3
10位	定年延長	13.0

	60代男性	%
1位	パソコン	43.9
2位	コロナ禍	33.8
3位	携帯電話・スマートフォン	30.6
4位	バブル経済	26.1
5位	働き方改革	24.8
6位	円安・物価高	22.9
7位	リモートワーク	21.7
8位	日本の国力低下	19.7
9位	定年延長	18.5
9位	リーマンショック	18.5

	20代女性	%
1位	SNS	28.7
2位	携帯電話・スマートフォン	27.8
3位	コロナ禍	25.9
4位	リモートワーク	15.7
4位	自分の就活	15.7
6位	自分の結婚	14.8
7位	働き方改革	13.9
7位	円安・物価高	13.9
9位	消費税導入・増税	12.0
9位	インフルエンサー	12.0

	30代女性	%
1位	コロナ禍	30.6
2位	携帯電話・スマートフォン	24.8
3位	SNS	19.8
3位	自分の結婚	19.8
5位	リモートワーク	18.2
6位	働き方改革	16.5
6位	自分や家族の出産	16.5
8位	パソコン	14.9
9位	自分のアルバイト	14.0
10位	インフルエンサー	12.4

	40代女性	%
1位	コロナ禍	32.7
2位	携帯電話・スマートフォン	25.5
3位	円安・物価高	23.5
4位	就職氷河期	21.6
5位	パソコン	14.4
6位	働き方改革	13.7
6位	自分や家族の出産	13.7
6位	日本の国力低下	13.7
9位	大震災や水害などの自然災害	13.7
10位	リモートワーク	13.1
10位	人生100年時代	13.1

	50代女性	%
1位	コロナ禍	39.3
2位	パソコン	28.9
3位	携帯電話・スマートフォン	23.7
4位	リモートワーク	18.5
5位	円安・物価高	17.0
6位	大震災や水害などの自然災害	14.8
6位	自分や家族の病気	14.8
8位	日本の国力低下	13.3
8位	自分の結婚	13.3
10位	人生100年時代	12.6
10位	年金支給開始年齢の引き上げ	12.6
10位	消費税導入・増税	12.6

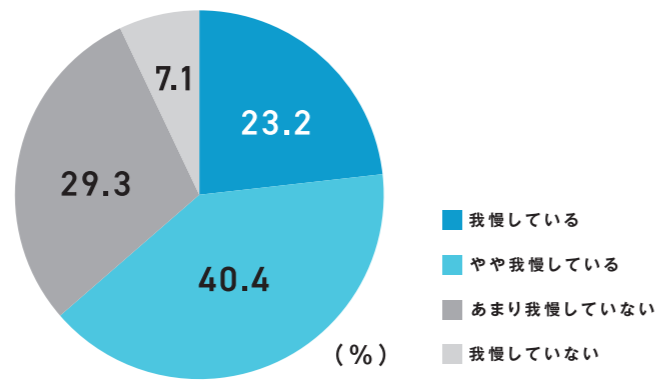
	60代女性	%
1位	コロナ禍	40.3
2位	パソコン	29.9
3位	携帯電話・スマートフォン	22.1
4位	日本の国力低下	20.8
5位	円安・物価高	18.2
5位	大震災や水害などの自然災害	18.2
5位	人生100年時代	18.2
5位	非正規雇用の増加	18.2
9位	自分や家族の病気	16.9
9位	働き方改革	16.9
9位	バブル経済	16.9

## どのくらい我慢して働いている？

20～60代の有職者を対象に、「現在、どの程度我慢して働いているか」を聞いてみました。  
我慢して働いている人は有職者全体の63.6%で、30代女性が70.6%と最も高いのに対し、  
60代男性が53.2%と最も低い結果となりました。  
我慢の理由は人それぞれですが、ワーク・ライフ・バランスやハラスメント、  
給与に関するコメントが多くみられました。  
全体的に我慢している人は多数ですが、中間管理職の苦悩が見受けられる結果となりました。

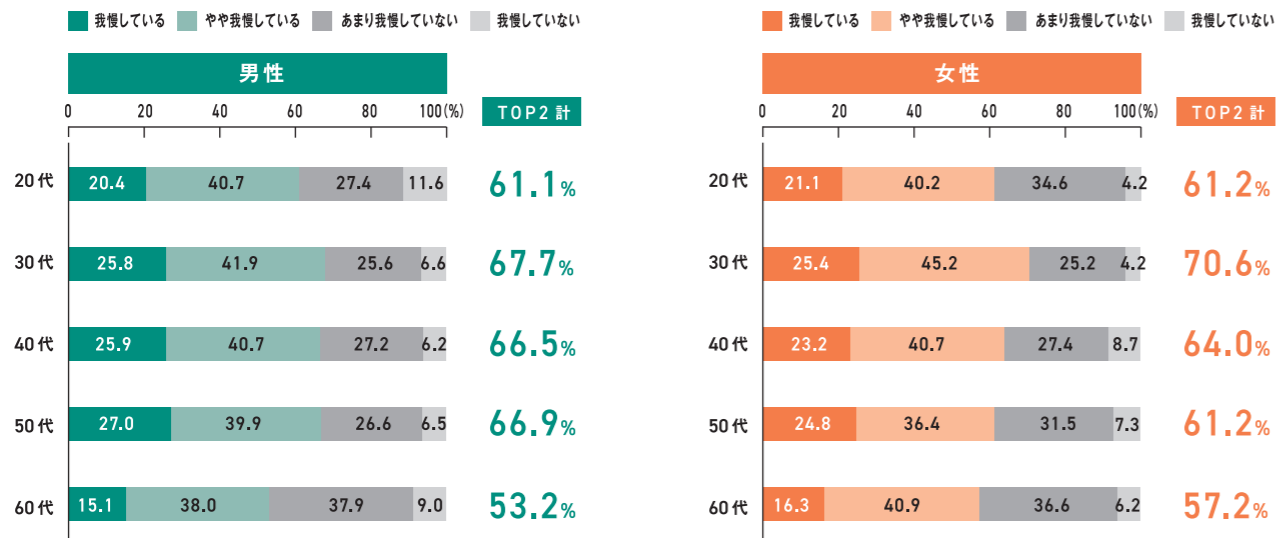
### Q あなたは現在、どの程度我慢して働いていますか。

**全体** 有職者の63.6%が我慢して働いている



### Q あなたは現在、どの程度我慢して働いていますか。

**性年代別** 最も我慢して働いているのは30代女性



※調査では小数第2位まで集計していますが、本稿は小数第1位まで(小数第2位を四捨五入)を表示しているため、合計値は見た目の数値と異なる場合があります。

### Q 具体的にどのような我慢をしているのかをお答えください。

#### 20代

- きついことばかりで、理不尽もよくある(25歳男性/パート・アルバイト)
- 休みを取りたくても人員不足のため取れない(26歳男性/正社員)
- シフトも希望が通らない。クレマーに対する我慢(28歳女性/正社員)
- やりたいことがあっても上司から賛同が得られないとできない。  
押し進めることもできるが、どうにも上司の反応が気になってしまう(28歳女性/正社員)
- なんでも確認を取らなきゃならない。聞いても常に上司の機嫌が悪い(29歳女性/正社員)

#### 30代

- 仕事が終わってようがいまいが定時まで会社にはいないといけない(39歳男性/正社員)
- 与えられた仕事に対して人数や時間がギリギリに設定されていて、  
ストレスを抱えながら働いている(39歳男性/契約社員(嘱託社員も含む))
- 給料が少ない。産休社員の犠牲になっている(36歳女性/正社員)
- 嫌なことを言われたり、嫌な仕事を押しつけられても、感情を押し殺して我慢して顔に出さないように働いている(36歳女性/正社員)
- 休憩時間がなく、トイレに行く時間すら確保できない(39歳女性/正社員)

#### 40代

- 新しいことを自分の意思で始めようと思っても稟議が通らない。上の言いなりになって駒として雑多な実務を行うだけ。  
すぐに思いついたことを実行に移せる環境が欲しい(45歳男性/正社員)
- 中間管理職ということもあり、やりたくない仕事やわがままな部下に対し、  
ハラスメントを気にしながら対応している(48歳男性/正社員)
- 衛生管理のためノーメイク、ノーアクセサリー。仕方ないと感じてる(44歳女性/パート・アルバイト)
- 息子が新社会人になったばかりで側に居たい気持ちがあるけれど、出張が多いこと(44歳女性/個人経営主・農業主)
- 対人職として、自身の心身の状態にかかわらずなるべくこやかに愛想よく  
顧客へ接することが要求される(46歳女性/資格専門職(医師・弁護士など))

#### 50代

- 低賃金の仕事だが様々な理由から仕方なく働いている意識が強い(54歳男性/契約社員(嘱託社員も含む))
- 打合せ等の日時に関する都合を人に合わせる(または、自分の都合が通らない)ことが多いので、  
予定を立てづらい環境がある(59歳男性/正社員)
- 平日週5勤務を決められているが、本当は平日休みが1日欲しい(51歳女性/契約社員(嘱託社員も含む))
- 長く勤めているけど、まだまだ昭和世代の頭でっかちの方がいますので、普通にパワハラは常に起きていますね。  
さすがにZ世代には、言えないみたいですね(55歳女性/パート・アルバイト)
- 小さい子どもがいる同僚がよく休むので穴埋めに駆り出されることが割と多い(55歳女性/パート・アルバイト)

#### 60代

- 自分の信念と会社の方針が100%は一致しないが、折りあいをつけている(61歳男性/正社員)
- お金のために働かなければならない。生活のために働かなければならない。生きるために働かなければならない(69歳男性/正社員)
- 自分の今している仕事以外のことをしてと頼まれて時間内に終わらないと、残業しないといけないから(60歳女性/パート・アルバイト)
- 何年も前から退職願いを申し出ているが、人手不足で、後任が決まっても続かず、辞められない。  
フルタイムに近い事務員が自分一人で、仕事内容も多岐にわたるため、引継ぎをせずに辞めるわけにもいかず、  
我慢して出勤している(62歳女性/パート・アルバイト)
- もう少したくさん働きたいのだが、自分の希望する仕事が少ない(62歳女性/パート・アルバイト)

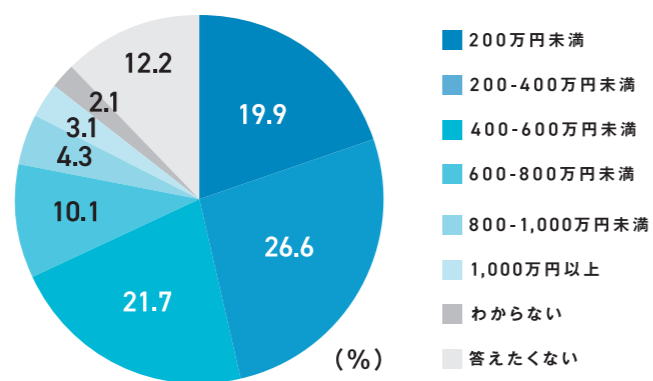
出典:博報堂生活総合研究所「働くことに関する意識調査(第3回)」

## 今の働きに見合った年収は？

20～60代の有職者を対象に、「現在の年収」と「自分自身の今の働きに見合う年収（自己評価年収）」を聞いてみました。  
現在の年収は平均423万円で、自己評価年収の平均は528万円という結果となりました。  
自分で査定することで実際の年収よりも+105万円ほど高くなるようです。  
また、自己評価年収を性年代別でみると、50代男性が719万円と最高額でした。  
差分でみると、20代男性が+144万円と最高額となっています。

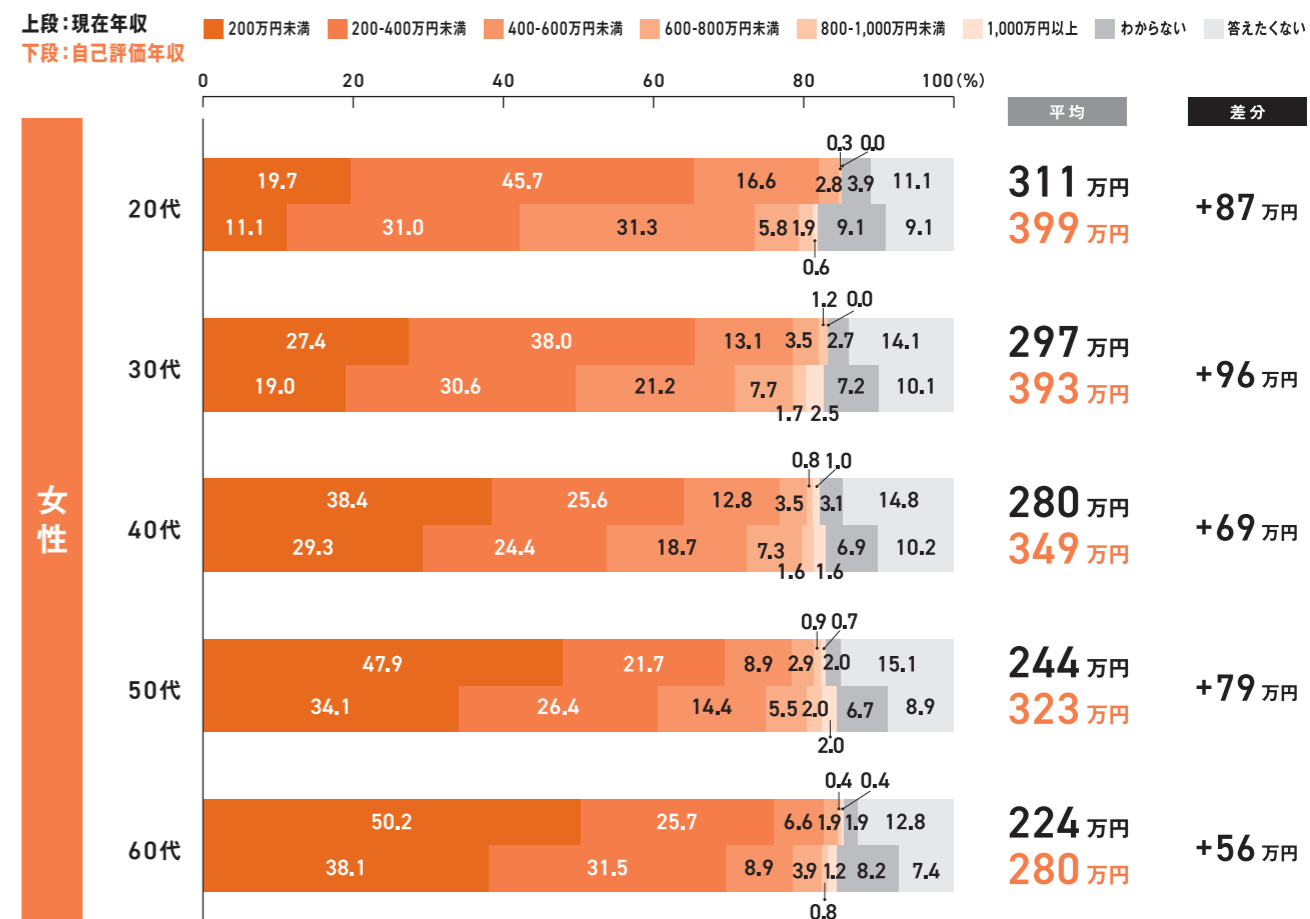
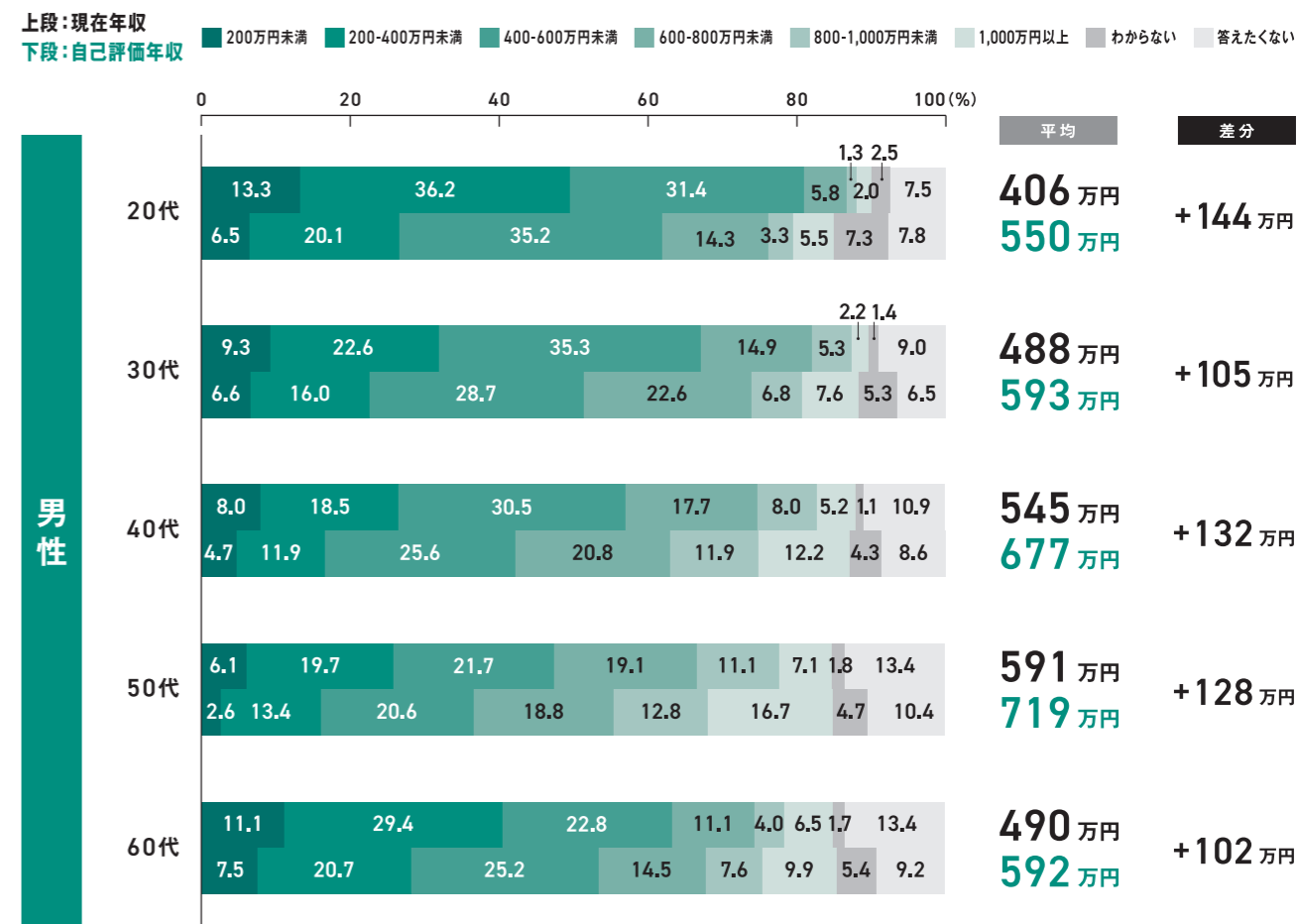
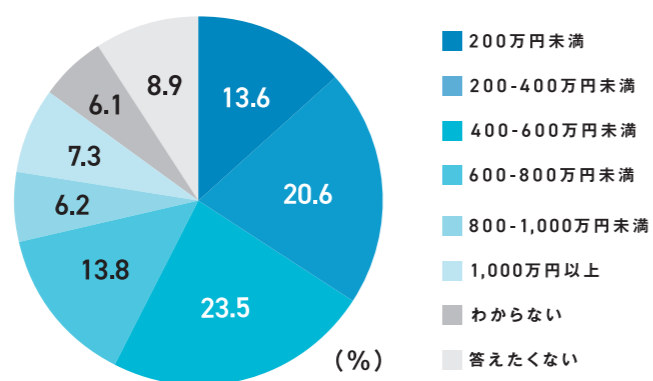
### Q あなたの現在の年収をお答えください。

現在の年収  
平均423万円



### Q 今の働きに見あっているとあなたが考える年収をお答えください。

自己評価年収  
平均528万円



出典：博報堂生活総合研究所「働くことに関する意識調査(第3回)」  
※調査では小数第2位まで集計していますが、本稿は小数第1位まで(小数第2位を四捨五入)もしくは整数(小数第1位を四捨五入)を表示しているため、合計値や差分は見た目の数値と異なる場合があります。

## 宝くじが5億当たっても働き続ける？

お金以外の目的で働いている人はどれくらいいるのでしょうか。

そこで、「5億円の宝くじが当選したら、その後働くかどうか」について聞いてみました。

働き続ける人は有職者全体の78.8%で、

年代別でみると30代女性の87.9%と最も高い結果になりました。

年齢が高くなるにつれてその割合は減少し、60代女性が73.6%と最低値になっています。

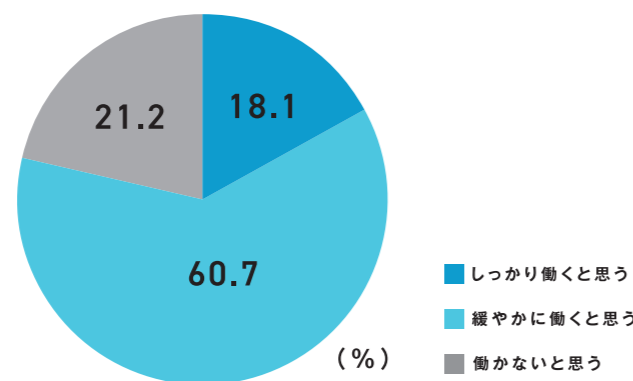
働き続ける理由として、金銭的な余裕ができたとしても、

働くことで得られる人間関係や社会とのつながりを求めたり、

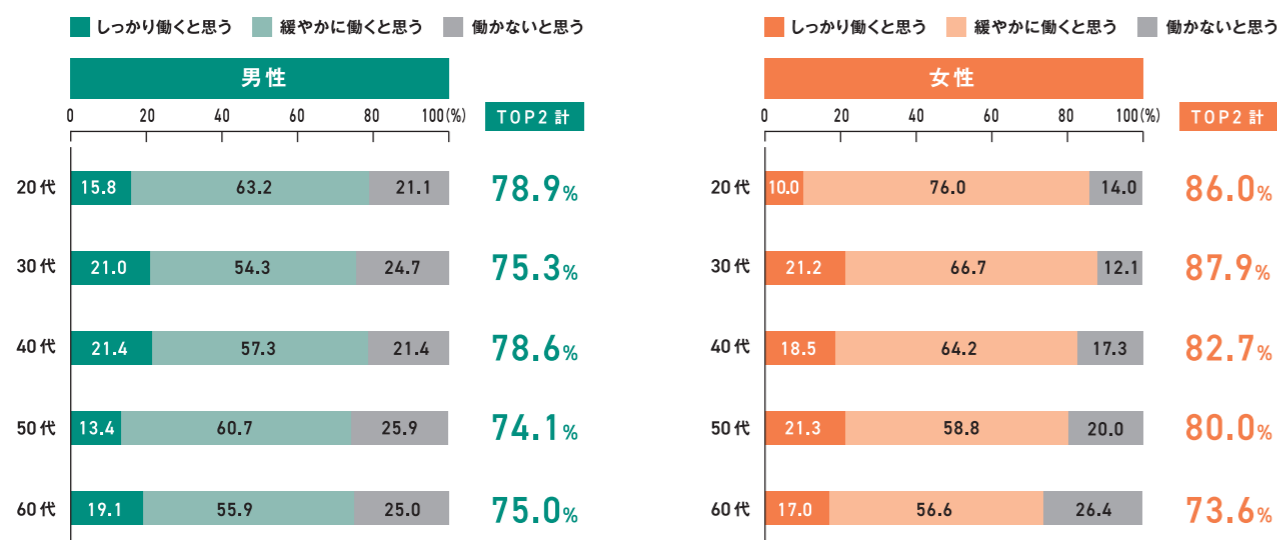
時間を持て余して堕落することへの恐怖を感じているコメントがみられました。

## もし、あなたが宝くじで5億円が当たったら、あなたはその後、働くと思いますか。

### 全体 有職者の78.8%は5億円あっても働き続ける



### 性年代別 年代が低いほど働き続ける人は多数



※調査では小数第2位まで集計していますが、本稿は小数第1位まで(小数第2位を四捨五入)を表示しているため、合計値は見た目の数値と異なる場合があります。

## 【宝くじで5億円が当たっても、働くと思う】とお答えいただきましたが、なぜ働くと思うのか、その理由や目的をお答えください。

### しっかり働くと思う理由や目的

- 働かなくなったら終わりだと思うから(22歳男性/学生)
- 当選金は浪費するために使いたくないから。役に立つ使い方をしたい(35歳男性/パート・アルバイト)
- 仕事の内容が楽しいから続いているものなので経済的な状況は関係ないから(51歳女性/自由業)
- 働くのはお金のためではないから(56歳女性/公務員)

### 緩やかに働くと思う理由や目的

- 堕落するから(22歳男性/会社員(技術系))
- すぐに無くなってしまいそう(26歳男性/会社員(技術系))
- 宝くじに当たった人は、仕事を辞めて破産するとよく聞くので、緩やかに働ける職についておきたいから(27歳男性/会社員(技術系))
- 何となくの暇つぶし(31歳男性/会社員(その他))
- 人間的に全く働かないのは怠惰になりそうだから(37歳男性/会社員(事務系))
- 安心のため(37歳男性/会社員(その他))
- さすがに仕事をしないとおかしくなりそうだから(48歳男性/会社員(技術系))
- 泡銭だと身につかないのと、世間とのつながりが無くなってしまうから(51歳女性/パート・アルバイト)
- 暇になるから(54歳男性/公務員)
- 大金は人を狂わすから。それにどっぷりと浸かりたくない(52歳男性/会社員(技術系))
- 将来の貯金に回してある程度働きたい。動いていたい(29歳女性/会社員(その他))
- 少し体を動かしたい(30歳女性/パート・アルバイト)
- 働くことで自分という存在を確かめることができるから(33歳女性/会社員(事務系))
- ずっと家にいると陰鬱な気分になるため(36歳女性/パート・アルバイト)
- お金の問題ではなく、人は生きがいや社会との接点が大事(40歳女性/会社員(事務系))
- 世の中何があるかわからないし、社会とのつながりも欲しいから(41歳女性/パート・アルバイト)
- 苦勞して貯めていないお金なので、すぐなくなるとし、人は働かないとダメになるのが早いと思うから(44歳女性/会社員(その他))
- 家にずっといるのは嫌だし、職場で人とかわりたいたいから(45歳女性/パート・アルバイト)
- 社会への貢献(60歳女性/会社員(事務系))
- 今まったく働かなくなったら、やることもなく時間をもて余してしまう。大金を手にしたことで、むしろ心の余裕ができ、楽しく働けそう(62歳女性/パート・アルバイト)

## 【宝くじで5億円が当たったら、働かないと思う】とお答えいただきましたが、働く代わりに何をしたいと思いますか。

### 働く代わりにすること

- デイトレードに勤しむ(27歳男性/パート・アルバイト)
- 家族との時間をゆっくり過ごす(32歳男性/会社員(技術系))
- 趣味と睡眠に時間を使う(43歳男性/パート・アルバイト)
- 投資しつつバイトで小銭を稼いで好きなスポーツや趣味をして生きていきたい(52歳男性/会社員(技術系))
- 運動と自己満足的な学び直し(61歳男性/会社員(事務系))
- 家を建てて今までできなかったことをする(33歳女性/会社員(その他))
- 自分の好きなことを思う存分に。旅行に行ったり読書をしたり、自分を楽しませることができる体験をたくさんしたい(35歳女性/自由業)
- 家族のためにご飯を用意したり時間を持つようにしたい(51歳女性/会社員(事務系))
- もうそんなに若くはないから、したいことを自由にしても足る金額なので、いろいろな場所に住んでみたい(65歳女性/パート・アルバイト)

出典:博報堂生活総合研究所「働くことに関する意識調査(第1回)」

## 大人のやってみたい職業ランキングは？

子どもを対象とした将来やってみたい仕事ランキングはよくみかけますが、今回は大人を対象として「自由に仕事を選べるとしたら、やってみたい仕事」を自由回答で聞いてみました。男女別でみると、男性の上位3位は「プロスポーツ選手」「研究者」「政治家」「医者」で、女性の上位3位は「医者」「看護師」「音楽家（歌手、演奏者など）」がランクインしました。小学生においても、スポーツや医療、音楽関係の職業は上位にランクインしており、子どもにも大人にも変わらず人気がある職業であることがうかがえます。大人で男女ともにランクインする「モノづくり」。何かをつくりたい、形になるものを残したいなどの気持ちが芽生えるのは大人ならではかもしれません。

### Q あなたがこれから自由に仕事を選べるとしたら、やってみたい仕事は何ですか。

年齢や身体的な向き不向き、才能、資格の有無など気にせずに、思ったものになれると考えて、自由にお答えください。

	男性	割合 (%)
1位	プロスポーツ選手	5.6
2位	研究者	3.4
3位	政治家 医者	3.2
5位	音楽家（歌手、演奏者など）	3.0
6位	教師	2.6
7位	公務員	2.2
8位	経営者 モノづくり	2.0
10位	投資家 YouTuber・動画配信者 プログラマー	1.6

	女性	割合 (%)
1位	医者	4.8
2位	看護師	4.0
3位	音楽家（歌手、演奏者など）	3.2
4位	経営者 モノづくり 俳優・芸能人	3.0
7位	教師 人が喜んでくれる仕事 保育士	2.8
10位	事務 客室乗務員	2.4

（自由回答をアフターコーディングして集計）

（参考）小学生の大人になったらなりたいたいのランキング

	男性	割合 (%)
1位	会社員	10.7
2位	ゲームクリエイター	8.8
3位	YouTuber・動画配信者	7.6
4位	サッカー選手	7.1
5位	野球選手	6.7
6位	公務員	5.7
7位	ITエンジニア・プログラマー	5.5
8位	料理人・シェフ	4.3
9位	医師	3.6
10位	警察官	3.3

	女性	割合 (%)
1位	パティシエ	16.6
2位	会社員	6.9
3位	美容師・ヘアメイクアーティスト	6.1
4位	漫画家・イラストレーター	4.9
5位	看護師	4.7
6位	医師、幼稚園の先生・保育士	4.5
8位	公務員	4.3
9位	YouTuber・動画配信者	3.4
10位	教師・教員、歌手・アイドル	3.3

出典：第一生命「第35回大人になったらなりたいたいの」アンケート

### Q やってみたい理由をお答えください。

#### プロスポーツ選手（男性第1位）

- ・自分の限界を試したいから（28歳男性/公務員）
- ・昔やっていたスポーツがあるから（42歳男性/会社員（その他））
- ・夢を与える（56歳男性/会社員（事務系））

#### 研究者（男性第2位）

- ・まだ世界で見つからないことを発見でき、かつ世の中に貢献できるから（23歳男性/学生）
- ・いろいろな適性診断をやると研究者が向いていると出てきたことがあるから（29歳男性/無職）
- ・研究者は論文を書いたりすると後世にも残るから（43歳男性/会社員（その他））

#### 政治家（男性第3位）

- ・国家権力的一端を担い、様々な政策を打ち出し実行したい（26歳男性/会社員（その他））
- ・政治の裏を見てみたい（67歳男性/経営者・役員）
- ・創造性と分析能力、説明力が必要な仕事で、やりがいがありそうだから（47歳男性/公務員）

#### 医者（男性第3位/女性第1位）

- ・人の病気を治して健康な生活を送ってもらいたいから（35歳男性/会社員（技術系））
- ・祖父や父の希望で医師になる夢を断念したから（60歳男性/自由業）
- ・困っていることを、自分の努力で解消できる人になりたいから（39歳女性/公務員）
- ・人の役に立つから。いろんな人と出会えそうだから（47歳女性/会社員（事務系））

#### 看護師（女性第2位）

- ・人の役に立っていると実感できる仕事でしてみたい（45歳女性/パート・アルバイト）
- ・誰かの役に立つことができるし、職探しに困らない（47歳女性/パート・アルバイト）
- ・社会貢献できる仕事だと思う。人のために働く（62歳女性/専業主婦）

#### 音楽家（歌手、演奏者など）（女性第3位）

- ・みんなを感動させて、自分もキラキラ輝けるので（51歳女性/専業主婦）
- ・自分自身が楽しく感じ、誰かの癒しになることだから（60歳女性/会社員（事務系））
- ・小さな頃から音楽は好きだったが何も学んでこなかったため（60歳女性/会社員（事務系））

出典：博報堂生活総合研究所「働くことに関する意識調査（第1回）」